



Includes everything you need to edit your home videos and create spectacular DVDs.

- ▶ Capture and edit your home videos
- ▶ Author and burn custom DVD discs
- ▶ Create personalized photo slideshows
- ▶ Customize your DVD backgrounds and buttons
- ▶ Transfer video from camcorder to DVD instantly



▶ ▶ ▶

ArcSoft **ShowBiz[★] DVD**

アークソフト・エンドユーザー 使用許諾契約

以下の条件（「本契約」）を注意深くお読みください。アークソフトが提供する本ソフトウェア（以下に定義）は、本契約に基づきこれに従った場合のみ使用することが認められます。本契約による拘束を受けることに同意されない場合は、本ソフトウェアをご使用にならないでください。エンドユーザーが本ソフトウェアを、本契約書の印刷されたものを伴わずにCDで入手され、かつ本契約書を読む機会がなかった場合、(i) 本ソフトウェアをご使用にならず、かつ(ii) これを購入された場所での支払いの証拠と共に、購入日から30日以内、またはかかる場所が要求する期限以内に本ソフトウェアを返品された場合、当初の購入金額を全額お返しいたします。

1. ライセンスの付与 本契約に従い、エンドユーザーは本ソフトウェア、あるいは本パッケージまたはデバイスに含まれる本ソフトウェア（「本ソフトウェア」）のコピーを1台のコンピュータにインストールすることができます。本ソフトウェア・ライセンスの使用許諾を受けた者は、1台のコンピュータまたはハードウェア・デバイスで随時使用することができます。「使用する」とは、本ソフトウェアをRAMにダウンロードする、コピーする、読み込む、またはコンピュータのハードディスク、あるいはその他の記憶メモリ、もしくはその他のハードウェア・デバイスにインストールすることをいいます。

2. ライセンスの制限 本ソフトウェアまたは本契約に基づくエンドユーザーのいかなる権利または義務についても、貸し出し、リース、二次使用許諾、販売、譲渡、貸付、またはその他の方法で移転することはできません。エンドユーザーには、(i) 本ソフトウェアの機能を制限または管理するための機構などを含め、本ソフトウェアの保護機構を無効にする、回避する、無視する、除去する、停止させる、またはその他の方法で避けるために、あるいは(ii) 本ソフトウェアからソースコードまたは基本概念、アルゴリズム、構造、もしくは編成を導き出すために（準拠法に基づきかかる活動が禁止されない場合を除き）、修正、翻訳、リバース・アセンブル、デコンパイル、分解、またはその他の方法を試みることを禁じます。ただしエンドユーザーは、以下の条件に従う場合、本ソフトウェアの使用権のすべてを他者または他の組織に移転することができます。(a) 以下のものも本ソフトウェアと共に移転すること。(i) 本契約書、(ii) 元のパッケージに含まれている他のソフトウェア、および/またはソフトウェアがバンドルされているハードウェア、(iii) 本ソフトウェアの元のバージョンおよびアップデートされたバージョンのすべて。(b) 移転後、バックアップおよびエンドユーザーのコンピュータまたはその他のデバイスにインストールされたコピーを含め、一切のコピーがエンドユーザーの占有下にならないこと。かつ(c) 受領者が本契約のすべての条件を受け入れること。いかなる場合も、トライアル用として、テスト・バージョンとして、そうでなければ再販禁止と明記されて入手した本ソフトウェアは移転できません。本ソフトウェアを他のコンピュータに分配するという目的で他のネットワーク・サーバーにインストールする場合は、アークソフトによる特別の使用許諾を得る必要があります。

3. 著作権 本ソフトウェア、あるいは本パッケージまたはデバイスに含まれている本ソフトウェアは、アメリカ合衆国著作権法、国際条約、およびその他適用のあるすべての国の法律により保護されています。本ソフトウェアは、他の知的所有権を持つすべての物（例：本や音楽など）と同様に扱われます。本ソフトウェアの貸し出し、リースは認められず、かつ本ソフトウェアに付随する物（もしあれば）を複製することはできません。

4. 所有権 本ソフトウェア、および付随するドキュメンテーションのすべて、ならびにこれらすべてのコピー、およびあらゆるサンプル・コンテンツの権原、所有権、およびすべての知的所有権は、アークソフトおよび/またはその第三者実施許諾者の独占的かつ排他的財産です。エンドユーザーは、著作権法およびその他すべての適用のある法律に従うことに同意します。エンドユーザーは、本ソフトウェアにはアークソフトおよび/またはその第三者実施許諾者の価値ある機密情報が含まれていることを認めます。

5. 保証の否認 本ソフトウェアは、「無保証で」提供されます。本ソフトウェアに関しては、商業的価値の存在と特定の目的に対する適合性の黙示的保証および知的財産の非侵害の保証を含め（ただしこれらに限ることなく）、明示的にも黙示的にも、一切の保証をいたしません。またアークソフトは、本書に記載しない一切の保証を明確に否認いたします。本ソフトウェアの品質および性能のリスクはエンドユーザーがすべて負うものとし、本ソフトウェアの不具合があると判明した場合、アークソフトまたは認められた再販業者ではなくエンドユーザーが、必要なサービス、修理、または修正の全費用を負担します。一部の州では黙示的保証の除外を認めていないため、上記の除外条項が適用されない場合もあります。本保証は、特定の法的権利をエンドユーザーに認めますが、エンドユーザーには州によって異なるその他の権利が認められる場合もあります。エンドユーザーの救済のすべておよびアークソフトの全責任は、上記の通りです。

6. 結果的損害に対する法的責任 いかなる場合もアークソフトまたはその代理人は、いかなる原因によろうとも、かついかなる責任理論（契約違反、不法行為（過失を含む）またはその他のいづれであろうと）を根拠にしようとも、本ソフトウェアの使用または使用不能より生じた、見込み利益の損失、データの喪失、利用の喪失、事業中断、補償費用、あるいはその他のあらゆる間接的損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害、または結果的損害について、法的責任を負いません。アークソフトが当該損害の発生の可能性につき警告を受けていた場合も同様です。いかなる場合も、アークソフトはエンドユーザーに対して、使用のために支払われた金額以上の損害については法的責任を負いません。上記の制限は、エンドユーザーの管轄権において適用される法が認める範囲で適用されます。

7. 輸出 アメリカ合衆国または外国政府の適切な許可なくして、本ソフトウェアを組み込んだ製品を輸出または再輸出することはできません。

8. アメリカ合衆国政府制限規定 エンドユーザーがアメリカ合衆国政府の組織または機関である場合、本ソフトウェアおよび関連するドキュメンテーションはそれぞれ、防衛連邦調達規定（DFAR）セクション 227.7202 および連邦調達規定（FAR）セクション 12.212(b)に適宜基づき、「商業的コンピューター・ソフトウェア」および「商業的コンピューター・ソフトウェア・ドキュメンテーション」とみなされます。本ソフトウェアおよび/または関連するドキュメンテーションのアメリカ合衆国政府による使用、修正、複製、譲渡、実行、表示、または開示のいずれも、本契約の条件によってのみ統治されるものとし、本契約の条件が明確に認める範囲を除き、禁じられるものとし、技術的データについては、上記の定め対象でない場合、DFAR セクション 227.7015(a)に基づく「技術的データ - 商業的品目」とみなされます。かかる技術的データの使用、修正、複製、譲渡、実行、表示、または開示のいずれも、DFAR セクション 227.7015(b)によって統治されるものとし、

9. 解除 本契約は、本ソフトウェアのインストール時に効力を発し、以下のうちいずれか早い時点で解除されるものとし、(i) エンドユーザーが本契約のいずれかの条件に従わなかったとき、あるいは (ii) エンドユーザーが所有する本ソフトウェアのすべてのコピーを返却、破壊、または削除したとき、アークソフトの権利およびエンドユーザーの義務は、本契約の解除後も存続するものとし、

10. 高度に危険な活動 本ソフトウェアは、耐障害性ではなく、危険防止機能またはその他のアプリケーションを必要とし、本ソフトウェアの不具合が発生した場合に直接的に死亡、人身傷害、あるいは人的または財物への重大な損害につながる危険な環境における使用（総称的に「高度に危険な活動」）のためには設計されておらず、そのようには意図されていません。アークソフトは、高度に危険な活動に対する適合性については、明示的または黙示的な保証の一切を明確に否認します。

11. 準拠法および管轄権 本契約は、もっぱらカリフォルニア州内で締結および履行される契約に適用されるのと同様、カリフォルニア州法およびアメリカ合衆国法によって統治され、これらに基づき解釈され、これらの法にある抵触法の規定は顧慮しないものとします。両当事者は、国際物品売買契約に関する国連条約の適用を明示的に除外します。訴訟または強制措置は、サンタ・クララ郡内で提起されなければならない、個々の当事者は、サンタ・クララ郡内に位置する州裁判所および連邦裁判所の独占的管轄権に絶対的に従うものとします。

- 目次 -

システム要件	2
はじめに	3
ビデオをキャプチャする	4
ビデオクリップの編集や組合せの変更を行う	6
DVDを作成する	18

- システム要件 -

- Windows 98SE/ME/2000/XP (Windows 2000/XPを推奨)
- Pentium III 800 MHz以上(P4 1.6 GHz以上を推奨)
- 500 MB以上のハードディスクの空き容量(プログラムのインストール用)
- 4 GB以上のハードディスクの空き容量(ビデオのキャプチャ用)
- 128 MBのRAM (512 MB DDR RAMを推奨)
- 1024 x 768以上の解像度で16ビット以上のカラーディスプレイ
- DirectX 9
- Windows Media Player 9 (推奨)
- 7200 RPMハードディスク(推奨)

注: 1時間のDVビデオには13 GBのハードディスク空き容量が必要です。

- はじめに -

ようこそ。これより、お使いのコンピュータでDVDを作成する方法を紹介します。この中で、DVDのキャプチャ方法や編集方法について説明します。それでは、さっそく始めましょう。工程には、大きく分けて、「キャプチャ」、「編集」、「作成」という3つの工程があり、これらについて順を追って説明します。説明が終わる頃には、ご自分がお持ちの複数のホームムービーを組み合わせさせて1つにまとめ、皆で楽しめるように仕上げられるようになっていることでしょう。

このアプリケーションにはあらかじめヘルプが組み込まれています。ヘルプには、アプリケーションのボタンやコマンドの説明が紹介されているので非常に便利です。では実際に、ビデオのキャプチャ、編集、オーサリングの各手順を見てみましょう。すべてのコマンドについての説明を1つ1つ読む必要はありませんが、作業中は常にヘルプファイルを開いた状態にしておきましょう。

では、どの処理から始めましょうか。処理を選択してください。(各ページの上部にあるリンクをクリックしてページを移動することもできます。)

- ビデオのキャプチャ
- ビデオクリップの編集/組合せ変更
- DVDムービーの作成

- ビデオをキャプチャする -

ほとんどの場合、ムービーの作成はカメラまたはビデオデバイスからご自分のコンピュータにビデオを移すことから始まります。この処理はいたって簡単です。処理は、この四角形の画面から始まります。このガイドでは、デジタルビデオ (DV) カメラからキャプチャすることを前提に話を進めます。

1. カメラをコンピュータに接続し、その後で電源を入れます。
2. アプリケーションを起動します。ウィザードの最初のページが表示されたら、[ビデオを編集またはキャプチャします]を選択します。
3. 次の画面では、画面の左上に表示されている[キャプチャ]を選択します。

キャプチャモジュールには、カメラに保存されているビデオを閲覧するためのコントロールが用意されています。



再生コントロールを使い、録音を開始したい位置までジャンプします。設定をすべて行ったら、プレビューウィンドウの下に表示されている大きな赤い丸印で示された[録音]ボタンをクリックします。ここで、キャプチャしたファイルの種類に応じていくつかの情報を定義します。



- ファイル名と保存先を選択します。
- ファイルの種類を設定します。DVDビデオを作成する場合は、DVD(MPEG - 2)ファイル形式を選択します。
- 状況に応じてキャプチャ時間を入力することができます。収録時間が非常に長いビデオをお持ちで、その一部分だけをキャプチャしたい場合はこのオプションを使用します。

- ほとんどの場合、キャプチャしたファイルをアルバムに保存しておきたいと考えるはずですが。少しでも編集を加えたいと思う場合は、アルバムに保存しておきましょう。アルバムの詳細については「編集」セクションで学習することになります。

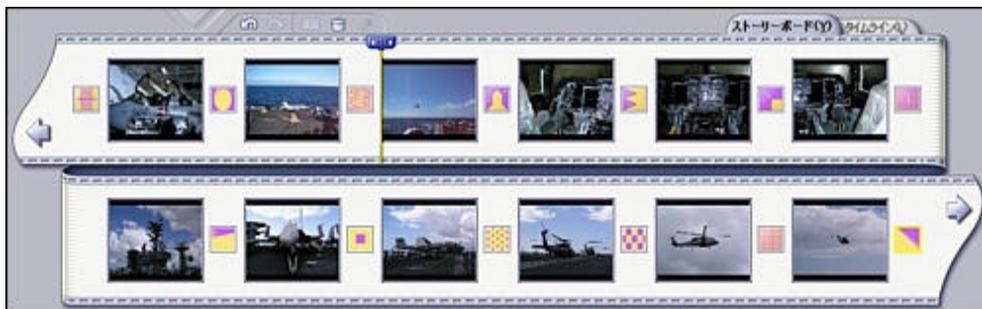
- ビデオクリップの編集や組合せの変更を行う -

作品をどのように作成するかは作る人によって変わってくるため、1つの手順に決めて説明することは少々困難です。そのため、ここでは、カスタムのビデオクリップを作成する際の基本に内容を絞って話を進めます。このアプリケーションの醍醐味をこのセクションで紹介します。ここでは、世界に2つとなく、プロも顔負けのビデオを作成していくことで、物作りの楽しみを体感できるはずですが、このチュートリアルを使って作業する場合は、組み込みのヘルプを参照しながら作業を進めるようにしてください。ヘルプファイルでは、それぞれのボタンとオプションの機能について詳しく説明しています。

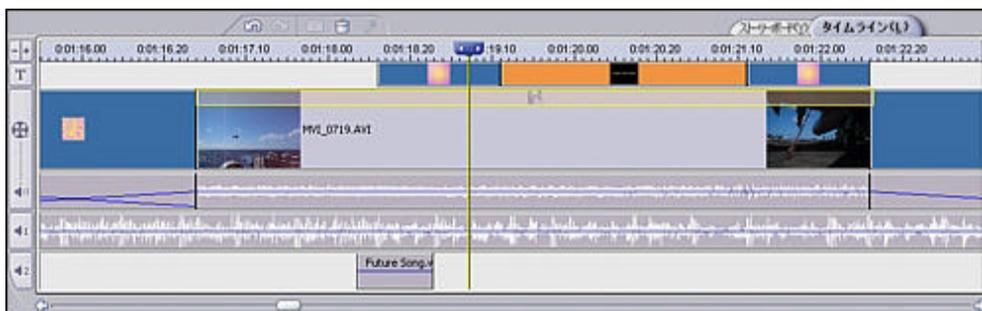
概要

ビデオクリップは、「ストーリーボード」と呼ばれるテンプレートにコンテンツ(既存のビデオ、写真、オーディオトラック)を追加することで作成されます。ストーリーボードは「タイムライン」と呼ばれることもあります。基本的に、このストーリーボードまたはタイムラインは、ムービーを作成する際に必要なテンプレートです。これらは、1つのものをさまざまな視点で表現します。ストーリーボードビューでは、静止画像、ビデオ、シーンのトランジションなどを追加できます。これらのほかに、オーディオやテキスト、特殊効果などをタイムラインを使って追加できます。

もうおわかりのように、追加できるものは写真、ビデオ、音楽だけに限られていません。さらに、追加した構成要素の間にトランジション(たとえば、最初のビデオクリップはフェードアウトさせ、次のクリップはフェードインさせるなど)を追加したり、これ以外の特殊効果を追加したりすることができます。タイトルの始まりの部分と終わりの部分にスクロールテキストを挿入することもできます。作業が完了したら、ビデオを最終保存先のDVDにチャプタとして加えることができます。



ストーリーボードには、静止画像、ビデオクリップ、およびトランジションが表示されます。



タイムラインには、静止画像、ビデオ、トランジション、テキスト、オーディオ、および特殊効果が表示されます。

再生時間の短いビデオクリップや静止画像で構成された単純なビデオを作成する場合は、ストーリーボードを使用します。このほかに、オーディオトラックや特殊効果、テキストを加えたい場合は、タイムラインを使用します。何事も、練習の積み重ねが成功への一番の近道です。このアプリケーションにあらかじめ用意されているサンプルコンテンツを使用して、タイムラインがどのようなものか、またタイムラインのオプションがどういふはたらきをするのか試してみてください。

仕上がったビデオがコンパイルされると、すべてのコンテンツが1つのビデオにまとめられます。ビデオは、追加したクリップや画像ごとに進行していきます。

オプションの大部分には画面上部からアクセスできます。オプションはグループごといくつかのタブで分けられています。タブは、[メディア]、[テキスト]、[トランジション]、[エフェクト]、および[書き出し]で構成されています。ただし、[書き出し]タブは実際にビデオの作成を始めないと表示されないことがあります。

使用するコンテンツはすべて"アルバム"に含まれています。この次の手順に進む前に、アルバムとはどのようなもので、どのように機能するのかという基本的なことをここで学習してください。

アルバム

ストーリーボードやタイムラインにコンテンツを追加するには、まずアルバムを作成します。アルバムは、コンピュータに保存したファイルとリンクしているショートカットで構成されます。この概念は難しいものではありませんし、理解しておくに役に立ちます。アルバムは、デスクトップやタスクバーのショートカットと同じようなものであると考えてください。クリックするアイコンは、実際のプログラムアイコンではなく、単なるショートカットです。アルバムについても同様です。アルバムには、ピクチャ、音楽、ビデオへのショートカットが含まれます。ここには、サンプルのアルバムがいくつか用意されています。



それぞれ別の名前を付けて、複数のアルバムを作成できます。たとえば、休暇中に撮った写真のアルバムと、家族行事のアルバムを別々に作成することができます。アルバムに含める写真、ビデオ、サウンドファイルの保存場所を把握しておく必要があります。

新しいアルバムを作成するには、次の操作を行います。

1. [メディア]タブを開いていることを確認してください。アルバムのプルダウンメニューから、[<新規アルバム>]をクリックします。



2. 新しいアルバムの名前を入力します。既存の名前をクリックすると、名前を入力できるようになります。



3. コンピュータに保存されているファイルを参照してアルバムに追加するボタンをクリックします。静止画像、ビデオクリップ、オーディオトラックを追加できます。



4. 後で他のファイルを追加する場合は、[追加]ボタンをクリックします。



アルバムの準備ができれば、ストーリーボードやタイムラインにコンテンツを追加できます。アルバムのサムネイルは、システムにある実際のファイルへのリンクにすぎないことに注意してください。実際のファイルを削除または移動したり、ファイル名を変更したりすると、プロジェクトに追加するアルバムにある該当するサムネイルが使用できなくなります。また、複数のアルバムを作成できることも忘れないでください。ムービーを作成するときに簡単に見つけられるように、メディアは整理しておきましょう。

ストーリーボードへのコンテンツの追加

アルバムの準備ができれば、ストーリーボードにコンテンツを追加し、ムービーの作成を開始します。空のストーリーボードの一部を見てみましょう。



ストーリーボードは、複数の四角形から構成されています。大きな四角形には、静止画像とビデオを挿入できます。小さな四角形には、トランジションが追加されます。トランジションとは、あるビデオや画像が他のビデオや画像に変わるタイミングで発生するエフェクトのことです。仕上がったムービーがコンパイルされると、ストーリーボードのすべてのコンポーネントが結合されて1つのビデオファイルになります。この図は、ストーリーボードに静止画像またはビデオクリップを追加する方法を示しています。



上記の方法(追加するサムネイルを選択してから[追加]ボタン(矢印ボタン)をクリック)を使うか、サムネイルをダブルクリックするか、またはアイテムをクリックしてストーリーボード上の次の空いている場所にドラッグすることができます。

[トランジション]タブをクリックします。好みのトランジションを選択して、写真やビデオの前後に追加します。ヒント:ムービーにトランジションをすばやく簡単に適用するには、ストーリーボードを右クリックし、[ランダムなトランジションをすべてに追加]を選択します。ストーリーボード上の適用可能なすべての場所に、自動的にトランジションが追加されます。

コンテンツの追加が終了すると、ストーリーボードは次の図のようになります。



大きな四角形は静止画像やビデオクリップを表しています。大きな四角形の間にある小さな色付きの四角形は、トランジションを表しています。

作業内容の保存

ここで、プロジェクトを保存しておきましょう。プロジェクトは頻繁に保存するようにしてください。コンピュータがクラッシュして、今までの作業がむだになってしまうほど悲惨なことはありません。各作業が終わった時点でその都度保存することをお勧めします。[ファイル]から[プロジェクトを保存]を選択します。プロジェクト名を入力し、保存先を指定します。ストーリーボードやタイムラインで行ったすべての作業内容が保存されます。次にこのファイルを開くと、その状態からさらに編集を行うことができます。

ムービーのプレビュー

これで、ストーリーボードにコンテンツが追加されました。では、次へ進みましょう。ムービーの作成では、1つ1つのステップが重要です。何もムービー作りの名人になる必要はないのです。少し練習すればすぐにコツがつかめます。もしかしたらあなたが、第二のスピルバーグ、あるいはチャップリンかもしれません。では、現時点のムービーを見てみましょう。



プレーヤーには、ムービー全体または特定のセクションを表示するための標準の再生コントロールがあります。ムービー全体を表示する場合は、[ムービー全体]をクリックします。次に、[再生]をクリックすると、これまでにストーリーボードに追加したすべてのコンテンツがプレビューウィンドウに表示されます。ムービーの特定のセクションだけを表示する場合は、[表示中のクリップ]をクリックします。次に、ストーリーボードで、プレビューするサムネイルをクリックします。[再生]をクリックすると、ウィンドウでそのセクションが再生されます。

ムービーはどのように見えましたか?満足のいく出来ではありませんでしたか?心配は要りません、ムービーの作成はまだ始まったばかりです。コンテンツを整理して編集し、特殊効果を追加するなど、まだ他にもオプションがあります。ここで、いったん休憩しましょう。外に出て、さらにビデオや写真を撮ってみるのもいいでしょう。次のセクションでは、ストーリーボード上のコンテンツの並べ替え、写真やビデオの編集、タイムラインを使ったビデオへのオーディオ、テキスト、特殊効果の追加について説明します。

コンテンツの編集

ここまではコンテンツの追加を中心に説明してきましたが、ムービーの作成で一番楽しいのは、コンテンツを整理して、実際のビデオを作る作業です。ストーリーボードを使うと、コンテンツを驚くほど簡単に並べ替えることができます。ストーリーボードは、使いやすさを重視して分割されており、異なるコンテンツを簡単に区別することができます。タイムラインはストーリーボードより複雑な表示になっているため、コンテンツの整理が少々難しくなります。

写真とビデオの並べ替え

基本的に、ストーリーボードでは、サムネイルをクリックして新しい場所にドラッグすることで、写真とビデオを並べ替えることができます。このとおり、並べ替えは簡単です。

トランジションの入れ替え

トランジションの変更は、これとは少し異なります。トランジションをクリックして別のトランジションにドラッグすると、クリックしてドラッグしたトランジションがその場所にあるトランジションと入れ替わります。トランジションは別のトランジション上にドラッグすると互いに入れ替わるだけで、シャッフルされることはありません。プロジェクトの保存を忘れないでください。

静止画像の編集 - 表示時間や色など

ムービーをプレビューすると、静止画像が一定の時間だけ表示され、ストーリーボードにある次のコンポーネントに移動する様子わかります。それぞれの写真を表示する時間を完全にコントロールすることができます。ストーリーボードで写真をクリックし、プレビュー領域の左にある表示時間を変更するだけです。



その写真を表示する時間、分、秒、フレーム数を指定します。この操作は、写真ごとに実行できます。

その写真の前のすべての画像に同じ表示時間を設定するには、表示時間を変更したサムネイルを右クリックして、[すべての画像に表示時間を適用]を選択します。

上の画像をご覧ください。明るさ、コントラストなどのスライダがあります。これらのスライダを使って、写真を補正します。プレーヤーで写真を表示して、変更を確認できます。[復元]をクリックして、いつでも変更を取り消すことができます(スライダは、基本的にデフォルトである中央に戻ります)。

[パンとズーム]オプションもあります。パンとズームについては、スライドショーを作成するときに説明します。

ビデオクリップの編集やトリミングを行う

ストーリーボードでビデオクリップをクリックすると、写真の編集で利用できるオプションと同じような編集オプションが表示されます。ビデオの色を変更できるだけでなく、ボリュームや再生速度を調整することもできます。



特定のビデオクリップのボリュームが、ムービーの他のオーディオに比べて非常に大きい場合があります。このような場合は、スライダを左へドラッグしてサウンドレベルを下げます。サウンドを完全にミュートする場合は、該当するボックスをクリックします。

速度をコントロールすると、さまざまな再生を楽しめます。再生速度を上げると、家族が家中を走り回るとたばた喜劇のようなおかしなシーンを作成できます。再生速度を下げると、最近ハリウッドでよく使われているスローモーションのSFエフェクトを作成できます。

ビデオクリップが少し長すぎる場合、または含めたくない部分がある場合は、ビデオクリップを簡単にトリミングできます。プレーヤーに表示されているビデオを見てください。緑と赤のトリムマーカがあります。このマーカを使って、ビデオの開始時間と終了時間を変更します。このマーカをクリック&ドラッグして時間を指定します。または、開始または終了する場所にタイマーを移動して、それぞれの[トリミング]ボタン(緑と赤のはさみ)をクリックします。ここでプロジェクトを保存してください。

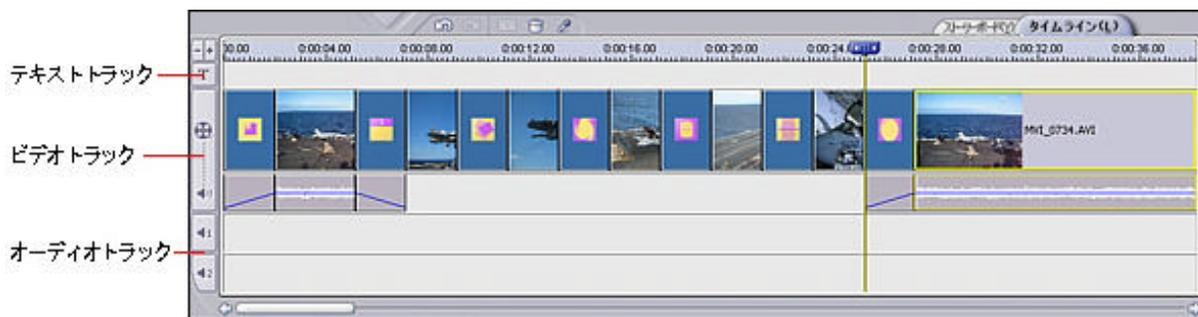
全般的なオーディオ設定

プロジェクト全体を表示すると、ビデオトラックと両方のオーディオトラックのオーディオ全体を変更できます。



タイムラインと高度な編集

ここまでで、どの程度マスターできたか確認してみましょう。ストーリーボードに静止画像、ビデオクリップ、トランジションを追加する方法を習得しました。ムービーをコンパイルすると、ストーリーボードにあるすべてのコンポーネントが結合されて1つのビデオになることを学びました。また、静止画像の補正方法とビデオクリップのトリミング方法も習得しました。ではここで、ムービーにサウンドトラック、特殊効果、テキストを追加してみましょう。これには、使いやすいストーリーボードではなく、少し複雑なタイムラインを使用します。



すでにご存じのように、タイムラインには、ストーリーボードと同じ情報だけでなく、他の情報も表示されます。タイムラインの表示は少し煩雑であるように見えますが、基本的にレイアウトを理解すれば、難しいことはありません。タイムラインは、異なるトラックに分かれています。トラックには、テキスト、ビデオ、オーディオ1、オーディオ2があります。テキストトラックは、テキストエフェクトを追加するトラックです。ビデオトラックは、静止画像、トランジション、ビデオクリップを追加するトラックです。ビデオトラックには、ビデオに含まれている可能性のあるオーディオを表示するセクションもあります。2つのオーディオトラックは、オーディオファイルを追加するトラックです。オーディオトラックが2つあるので、複数のオーディオファイルを重ねることができます。ナレーションや特殊なサウンドエフェクトのトラックとともに、進行中のサウンドトラックを効果的に含めることができます。

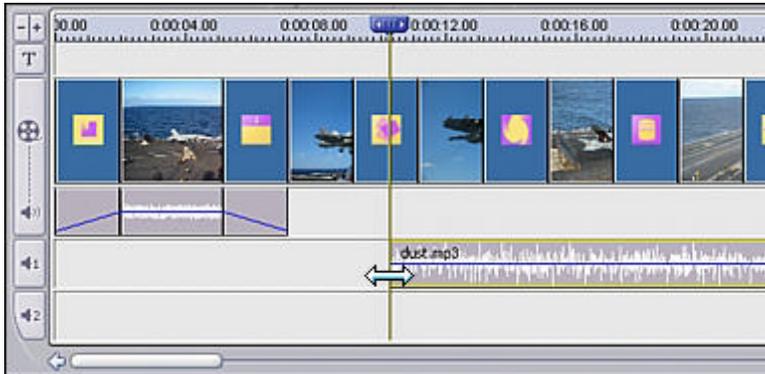
オーディオの追加

タイムラインへオーディオを追加する方法は、ストーリーボードに静止画像、ビデオ、トランジションを追加

する方法とまったく同じです。アルバムからオーディオを選択して、ダブルクリックします。オーディオトラックは、オーディオトラック1および2で自由に移動することができます。オーディオをクリックして、好みの場所にドラッグします。

オーディオのトリミング

非常に長い曲を追加する場合、または1節や1コーラスなど部分のみを含めるような場合は、ビデオと同じようにオーディオクリップをトリミングできます。該当するファイルの端をクリックしてタイムラインにドラッグし、開始点と終了点を変更することもできます。(ビデオトラックのビデオクリップでも同じように操作できます。)



テキストエフェクトの追加

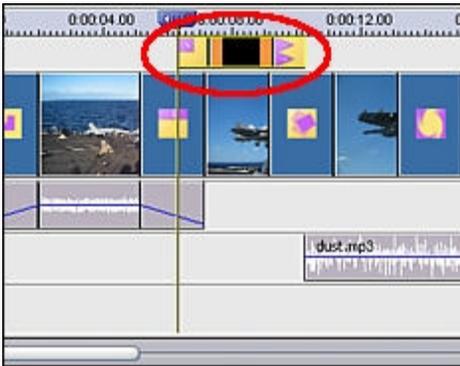
プロのように、スクロールするテキストエフェクトをムービーに追加できます。さまざまなエフェクトからテキストに追加するエフェクトを選ぶことができます。[テキスト]タブをクリックして作業を開始します。

まず、テキストのスタイルを選択しましょう。ここでは、[基本]または[ファンシー]を選択します。使用するスタイルをクリックしてから、テキストスタイルをクリックし、タイムラインにドラッグします。テキストの入力やフォントの変更などを実行できる新しいウィンドウが表示されます。



あとは、テキストボックス内をダブルクリックし、ボックス内のテキストを変更するだけです。右側でテキストスタイルを選択すると、スタイルを変更できます。既存のテキストボックスの外側の任意の場所をクリック

し、新しいテキスト文字列を追加することができます。複数の文字列を追加し、それぞれに異なるフォントとスタイルを割り当てることができます。[スクロール]チェックボックスおよび対応するボタンを使うと、テキストにモーションを追加できます。テキストにモーションを追加する場合は[OK]をクリックします。これで、テキストエフェクトを追加または変更できます。使用する[エフェクト]カテゴリを選択し、エフェクトをクリックして、タイムラインに新しく追加したテキストのいずれかの隣に直接ドラッグします。テキストが表示されるときと表示されないときで異なるエフェクトを使用することもできます。次の図は、テキストエフェクトを追加したタイムラインの例です。



両方のテキストおよびそのエフェクトを変更できます。変更するコンポーネントをクリックすると、利用可能なオプションを確認できます。テキストの表示時間を調整できます。エフェクトによっては、表示時間を調整するだけでなく、特定のエフェクトのプロパティを変更することもできます。たとえば、モーションエフェクトを選択した場合は、テキストが動く方向を選択できます。ここで、またプロジェクトを保存してください。

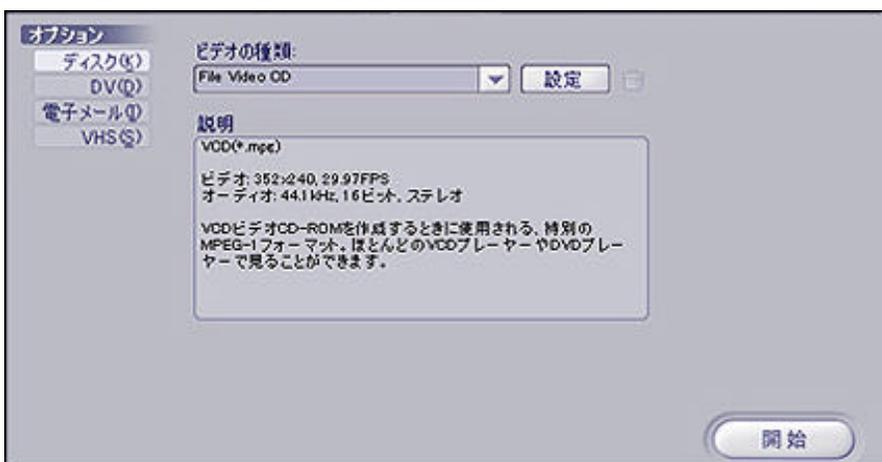
特殊効果の追加

[エフェクト]タブをクリックすると、楽しいエフェクトやユニークなエフェクトを見ることができます。エフェクトは、ビデオトラックの特別なアイテムに追加されます。端をクリックしてドラッグすると、エフェクトの表示時間を変更できます。エフェクトは、ビデオトラックの各コンポーネントに追加されます。たとえば、2つのピクチャにわたって1つのエフェクトを追加することはできないため、両方のアイテムにエフェクトを追加する必要があります。ストーリーボードでは、どのコンポーネントにエフェクトが追加されているかを確認できます。星型のアイコンが付いているコンポーネントには、エフェクトが追加されています。



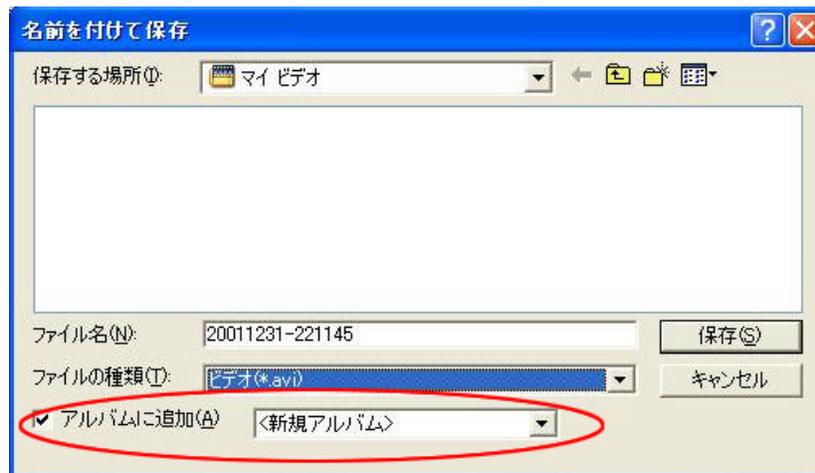
ビデオの書き出し

ここまでで、ビデオはかなりすばらしいものになっているはずですが、まだその段階には達していませんか?心配は要りません。偉大な映画監督は一晩では生まれません。とは言うものの、この段階まで到達するのにそれほど時間はかかっていないはずですが。少なくとも、見栄えのよいビデオを作成する方法を習得できました。これからは、すべてのツールに慣れることを目標にしてください。ツールに慣れてくると、独自のテクニックを使って、より優れたコンテンツを作成できるようになるでしょう。ビデオを書き出す前に、プロジェクトを保存し、プレーヤーでプレビューしてみてください。苦労して完成した作品を存分に楽しんでください。では、次に[書き出し]タブをクリックします。



ここでは、作成したビデオをDVDに書き込めるようにします。プルダウンから [DVDファイル] を選択してください。さまざまなファイルタイプで保存でき、それぞれの設定も変更できます。ここではデフォルトの設定を使

用します。ムービーをDVD(MPEG - 2)ファイルファイルとしてハードディスクに保存することを確認してから、[開始]をクリックします。標準の[名前を付けて保存]ウィンドウが表示されます。



ムービーのファイル名を入力して、覚えやすい場所に保存します。重要:[アルバムに追加]ボックスを選択してから、保存するファイルが追加されるアルバムを選択します。これは重要ではありませんが、DVDの作成にこのビデオクリップを使用する場合は、アルバムに追加する必要があります。

これで、DVDは完成です。ムービーをコンパイルして保存する間、ちょっと休憩しましょう。これまでの疲れを取るために、ひと眠りするのによいでしょう。作品が完成したら、クリップを、[作成]セクションにあるDVDまたはVCDプロジェクトに追加できます。

ここからの作業

ShowBizは、大変複雑なものに見えるかもしれませんが、しかしこれは、創造力を生かす自由度が高いためです。このチュートリアルのはじめの目的は、この製品を正しく使用し、基本的な原理を学んでいただくことにあります。基本的な原理をマスターしたら、無限の可能性が広がります。サンプルコンテンツを使って、独自のサンプルビデオを作成してみてください。マウスの右ボタンと左ボタンを使ってあらゆる場所をクリックし、使用可能なすべてのオプションを確認してください。常にヘルプファイルを開いておけば、各ボタンやコマンドの定義を確認できます。

まず、簡単なビデオを作成してみましょう。2~3種類のピクチャを既存のビデオクリップにリンクします。最終的なクリップが単調なものにならないように、トランジションをいくつか混ぜてみます。高度な使い方に慣れるまでは、ストーリーボードビューのみを使用します。ストーリーボードで実行できる操作に慣れたら、タイムラインを使って実行できるより高度なオプションを使います。

このセクションでは、ムービーのコンテンツをデザインするプログラムの中核部分について説明しました。満足できる仕上がりのビデオクリップがすでにあり、DVDに書き込むだけの場合は、このセクションをスキップしてください。ただしこのセクションに記載されている情報は、知っておくと役に立ちます。

- DVDの作成 -

このアプリケーションの作成モジュールでは、DVD(またはVCD)を実際に組み立てます。この操作は非常に簡単です。編集セクションで独自のカスタムクリップを作成された場合、ここまできたら完成品になるのもあとわずかです。ここでは、これまでに作り上げてきた実際の作品をDVDにチャプタとして追加することができるのです。ここでは、次のことを実行できます。

1. ムービーに追加するビデオクリップを選択する(ビデオクリップは個々のチャプタとして追加されません)。
2. 長いビデオクリップで複数の開始点を作成する(サブメニュー)。
3. ムービーのメニューをデザインする(独自の外観を持つ複数のメニュー画面を作成できます)。
4. 写真のスライドショーを作成する。
5. ディスクにムービーを書き込む。

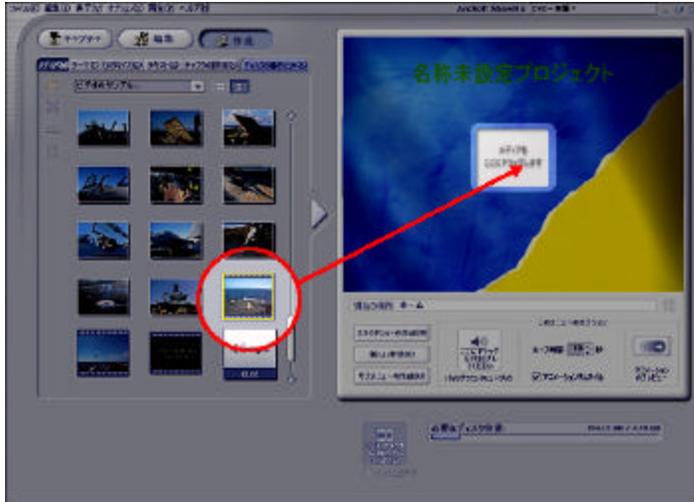
ムービーへのチャプタの追加

編集セクションの内容を読まれているようであれば、アルバムの動作についてはある程度理解されていると思います。DVD(またはVCD)を作成する場合も、基本的には同じ規則が適用されます。この時点では、コンテンツをすべて追加することを考えてください。コンテンツの追加が完了したら、好みに応じてムービーのメニューを作成できます。コンテンツを追加するには、次の操作を行います。

1. 追加するビデオクリップが含まれるアルバムを選択します。



2. 追加するビデオクリップをダブルクリックします。すると、ビデオクリップが、新しいチャプタとしてメニューに表示されます。メニューの外観は後でカスタマイズすることができます。チャプタボタンのレイアウトも一緒にカスタマイズできます。ここでは、ムービーに含める予定のビデオチャプタを追加するだけにしておきます。1つのアルバムからいくつのコンテンツを追加してもかまいません。



イントロビデオの追加

イントロビデオとは、DVDプレーヤーにディスクが挿入されたと同時に再生されるビデオのことです。このビデオクリップの再生が終わると、ムービーメニューが表示されます。ディスクにイントロビデオを追加するには、アルバム領域からイントロビデオに使用するビデオをクリックし、[イントロビデオ]ボックスにドラッグします。すると、ビデオのサムネイルが表示されます。

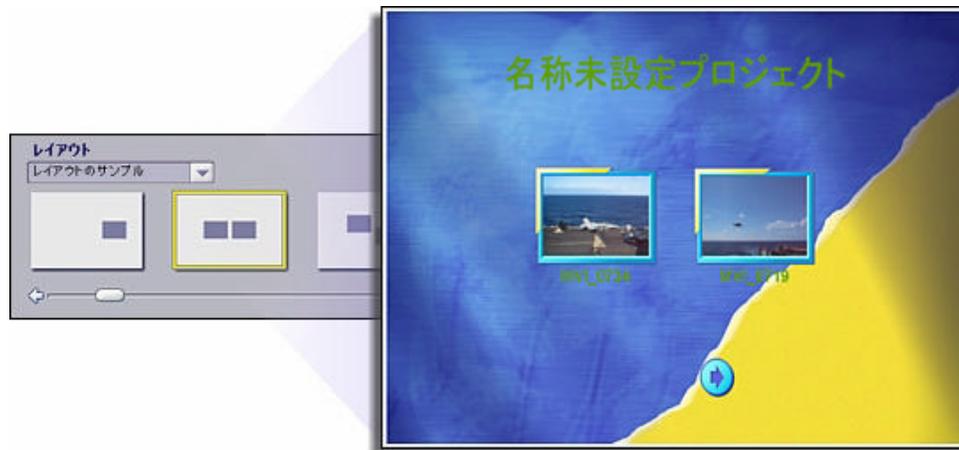


メニューのデザイン

コンテンツを追加したら、メニューの外観をカスタマイズできます。背景、タイトル、チャプタボタンのレイアウトとテキストを変更できます。テキストを変更する前に、まず背景を設定することをお勧めします。テキストの色は、背景の色によって決まることが多いためです。色と色の間にはっきりとしたコントラストを付けると、テキストがはっきりと読みやすくなります。

チャプタボタンの配置

[カスタマイズ]タブをクリックします。[レイアウト]セクションで、メニューに適用するレイアウトをダブルクリックします。チャプタボタンは、そのレイアウトどおりに配置されます。チャプタボタンをクリックしてドラッグすることでも、位置を入れ替えることができます。複数のページになる場合は、メニューにナビゲーションボタンが自動的に表示されます。

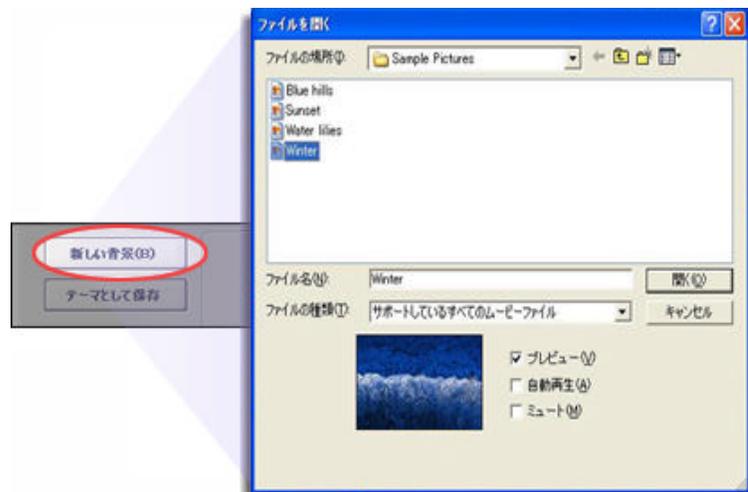


新しい背景の選択

[テーマ]タブをクリックします。多くの背景を含むコレクションが付属しています。[動きのあるメニュー]アルバムには、ビデオを素材にした背景が収録されています。



ご自分のコレクションの中から写真やビデオを選んで、メニューの背景として使用することもできます。そうするには、プレビュー領域の[新しい背景]をクリックします。システムを参照し、使用するファイルを探することができます。



動きのあるチャプタボタン

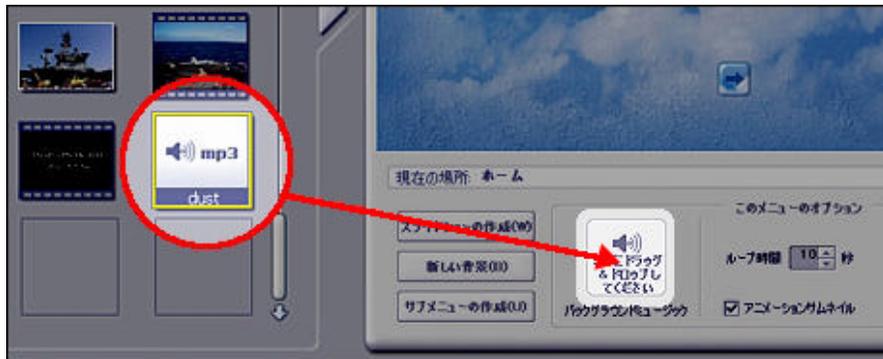
静止しているチャプタボタンではなく、実際に再生されるビデオを示すボタンを作成できます。[メディア]タ

ブから [動きのあるサムネイル] ボックスを選択します。ループするまでの再生時間を秒単位で設定します。[アニメーションのプレビュー] をクリックし、ボタンがどのように見えるかを確認します。システムと動きのあるループの長さによっては、処理に長い時間がかかる場合があることに注意してください。



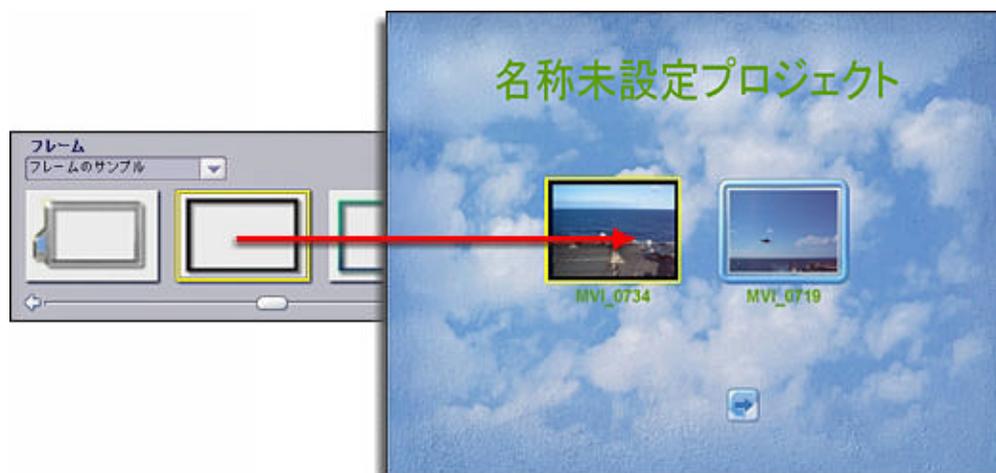
メニューへのオーディオの追加

オーディオファイルをクリックしてプレビュー領域の下にある [バックグラウンドミュージック] セクションにドラッグすることで、メニューに音楽を追加することができます (異なるトラックをそれぞれのメニューページに追加できます)。



チャプタボタンフレームの更新

各チャプタボタンには、独自のフレームを付けることができます。まず、[カスタマイズ] タブを表示します。次に、更新するチャプタボタンを選択してから、使用するフレームをダブルクリックします。



長いビデオクリップの分割 / サブメニューの作成

ビデオクリップが長くなる場合には、別のチャプタに分割することができます。そうするには、次の操作を行います。

1. 小さなセグメントに分割するビデオクリップを選択します。
2. [チャプタの設定]タブをクリックします。
3. 再生コントロールとスライダを使用し、分割するポイントに移動します。
4. [チャプタの設定]をクリックします。チャプタの分割ポイントが挿入されます。
5. ビデオ全体の長さを切り取ることもできます。ビデオを開始するポイントに移動し、左向きの角括弧アイコンをクリックします。終了ポイントを変更するには、その地点に移動してから、右向きの角括弧アイコンをクリックします。



サブメニューとは、ビデオファイル用に作成されるメニューで、設定したチャプタの分割ごとに表示されます。また、メインのプレビュー領域の下にある[サブメニューの作成]をクリックしてサブメニューを作成することもできます([メディア]タブが表示されていることを確認してください)。サブメニューは、幅広いジャンルの異なるビデオを多く含める場合に便利です。たとえば、「休暇」というタイトルのDVDには、夏休み、冬休み、春休みなど、さまざまな季節に行った旅行のサブメニューを作成できます。

メニューテキストのカスタマイズ

メニューに表示されるテキストをダブルクリックすると、そのテキストを編集できるようになります。[テキスト]タブをクリックすると、多彩なテキストオプションが表示されます。テキストについては、フォント、サイズ、書式、配置、色を変更することができます。また、文字に影を付けることもできます。影を付けるには、[影]チェックボックスをオンにします。小さなプレビューウィンドウで影をクリックしてドラッグし、影の位置を変更することもできます。2つのスライダが用意されており、これを使って影の特徴を変更することができます。



スライドショーの作成

スライドショーは簡単に作成できます。スライドショーは、独立したチャプタとしてムービーに追加されま
す。スライドショーを作成するには、次の操作を行います。

1. [メディア]タブから、[スライドショーの作成]をクリックします。



2. スライドショーに含める写真が含まれているアルバムまたはフォルダを選択します。
3. 追加する写真を、CTRLキーを押しながらクリックしていきます。
4. [追加]をクリックします([すべて追加]をクリックすると、現在のフォルダにあるすべての写真を追加
できます)。
5. 写真をクリックしてドラッグし、写真の順番を変更します。
6. 写真を回転させる必要がある場合は、写真を選択して[回転]をクリックします。
7. [サムネイルの設定]ボタンを使用すると、メニューに表示されるスライドショーのチャプタボタンサム
ネイルとして現在選択されている写真を使用できます。
8. [次ページ]をクリックします。



9. サウンドトラックを含める場合は、[ファイルの選択]をクリックし、追加するオーディオトラックを選択します。
10. [テンポ]セクションで、スライドの表示時間を設定します。サウンドトラックの長さに応じて自動的にスライドショーの時間を設定するには、[スライドショーをサウンドトラックに合わせる]を選択します。
11. トランジションまたは特殊エフェクトは、1つのスライドが次のスライドに移行するときに使用できます。利用できるエフェクトから使用するエフェクトを選択します([ランダム]を選択すると、プログラムによりトランジションが自動的に選択されて使用されます)。
12. パンとズーム:この機能を使うと、各写真に独自のスクロールおよびズームエフェクトを適用できます。以下にその様子を紹介します。



パンとズームエフェクトは、[ズーム元の位置]および[ズーム後の位置]という2つの異なるウィンドウを設定することにより動作します。スライドが表示されると、焦点が[ズーム元の位置]ウィンドウから

[ズーム後の位置]ウィンドウに移動します。たとえば、[ズーム元の位置]ウィンドウを写真内の1つのオブジェクトに合わせ、[ズーム後の位置]を写真全体に合わせます。(ウィンドウをクリックしてドラッグし位置を変更する、ボックスのポイントクリックしてドラッグしサイズを変更する、または辺をクリックしてドラッグし回転します。)パンとズームエフェクトの結果は、ボックスで囲んでいる部分を表示することにより開始され、写真全体にズームアウトして終了します。注:プログラムでエフェクトをプレビューする場合は、DVDでコンパイルした結果より動きがぎこちなくなります。

13. スライドショーの作成準備ができたなら、[終了]をクリックします。スライドショーがコンパイルされ、ムービーに追加されます。

ムービーをディスクに書き込む

すべての準備が整ったら、[ディスクの書き込み]をクリックします。仮想リモートコントロールを使って、ムービーをプレビューすることができます。仮想リモートコントロールは、標準のDVDプレーヤーに付属しているリモートコントロールと同じように動作します。仮想リモートコントロールを使うと、さまざまなメニューを表示したり、ムービーを再生したりできます。VCDを作成する場合は、該当する番号を押して、チャプタを表示します。



ムービーをディスクに書き込む準備ができたなら、[開始]をクリックします。プロジェクトを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。プログラムが最終のムービーをコンパイルしてディスクに書き込む前に、オプションを設定する必要があります。



テレビ標準方式 NTSC

書き込み D: DVD-RW

ディスクのラベル Tiger Cruise

書き込み速度 自動

1. まず、再生の形式を選択します。米国の場合は、NTSCを選択します。ヨーロッパのほとんどの国ではPALを使用します。
2. 次に、ムービーを保存する場所を選択します。プルダウンから、DVDレコーダドライブを選択します(ムービーをローカルに保存する場合は、ハードドライブを選択します)。
3. [ディスクのラベル]に、ムービーのタイトルを入力します。
4. 最後に、ムービーの保存先に応じて、ドライブの書き込み速度またはムービーを書き込むハードドライブの場所を選択します。
5. 準備ができたなら、[OK]をクリックします。

これでムービーを含むDVDの作成が完了しました。ここからは、プログラムがすべての操作を実行します。作成したムービーは、DVD(またはVCD)形式に変換されてから、ディスク(またはドライブ)に書き込まれます。